

## 平成29年第1回議会定例会（施政方針・当初予算）

平成29年度の予算案及び諸議案のご審議をお願いするにあたり、新年度の市政運営に臨む所信の一端を述べさせていただきます。

### （施政方針）

総合計画2年目となる平成29年度は、「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向け、初年度の実績を土台として、更に前進する年です。

「継続は力なり」という言葉があります。大きなことをなすためには、立ち止まらずに継続することが大事、個々の成果は小さいものであっても、地道に成果を積み重ねていけば、やがて大きな成果を達成できるのだと私は解釈しています。

平成29年度は、将来像の実現のために掲げた3つの重点戦略「若い世代定住プロジェクト」、「みどり活用プロジェクト」、「拠点創造プロジェクト」に基づく事業に、優先的・重点的に予算を配分し、選択と集中のもと、メリハリのあるまちづくりを継続してまいります。

東日本大震災の教訓から、準備を積み重ね、昨年度工事に着手した市民の安心・安全の拠点であり、まちづくりの拠点である市役所庁舎整備事業の最終仕上げの年となります。

また、将来を見据え、一度白井を巣立った方たちが再び白井に戻り、親子3世代で活躍してもらえるよう近居推進事業の拡充、先人がたゆまぬ努力のもと作り上げてきた白井の宝である「しろいの梨」の魅力を更に高めていくために、海外輸出支援などのブランド化を応援する取り組みなどを前年度に引き続き継続してまいります。

そして、安心して子育てができる環境づくりを進めるため、待機児童対

策に力を入れるとともに、先に申しあげましたが、「白井市」のブランドや魅力を確立するため、しろいの魅力発信課を立ち上げ、シティプロモーションに力を入れ、持続可能なまちを目指し、未来への礎として若い世代の移住定住につなげるために努力してまいります。

私は、先人が残してくれた、愛する「白井市」をさらに発展させ、次の世代に確実に引き継いでいくことが私に課せられた使命であると考えています。

この考え方には いささかの揺るぎもございません。

未来に希望を持ち、「ときめき と みどりあふれる快活都市」を実現するため、第5次総合計画の着実な推進に全身全霊を傾けてまいる所存です。

(当初予算)

平成29年度当初予算について申し上げます。

新年度の一般会計予算は、市の厳しい財政状況を踏まえ、最少の経費で最大の効果を挙げるため、選択と集中のもと、前例にとらわれることなく、創意工夫と柔軟な発想を持ち、予算編成に臨んだところですが、庁舎の減築棟改修工事が始まることや庁舎移転に伴う経費などの増から、対前年度当初予算比1.4%増の203億8,621万円を計上し、2年連続で200億円を超え過去最大となりました。

特別会計を合わせた総予算額の規模は、対前年度当初予算比0.8%増の332億8,862万円で、こちらも過去最大となりました。

平成29年度の取り組みのうち、特に力を入れて取り組む6事業について申し上げます。

はじめに、28年度からの継続事業となる「庁舎整備事業」です。

平成29年4月末に新庁舎が完成しますが、平成29年度は、現庁舎の

減築改修工事を進めるとともに、先日、千葉県も予算を計上したと報道されましたが、印西警察署の分庁舎についても整備を進め、平成30年3月末の工事完了に向けて引き続き事業を進めてまいります。

2点目は、「待機児童対策事業」です。

当市では、平成28年4月に待機児童ゼロを達成しましたが、保育の必要な児童は増加しており、平成29年4月には新たな待機児童が出るが見込まれています。

この保育ニーズに対応し、必要な保育量を確保するため、私立保育園等に対して、新たに3つの補助を行うための予算を計上しています。

具体的には、市内で私立保育園等を経営する法人に対して、1つ「雇用する常勤保育士の通勤用の駐車場を借り上げて使用させる場合に、駐車場の借り上げにかかる費用に係る補助」、2つ「市の要請に基づき、当該保育所の定員を拡大した場合に、公定価格基本単価の減額分に対する補助」、3つ「雇用する常勤保育士を法人が借り上げた宿舎に入居させる場合に、宿舎借り上げにかかる費用に対する補助」以上3つの補助を行い、保育枠の拡大や保育士の確保を図り、待機児童の解消につなげたいと考えています。

3点目は、「西白井地区コミュニティ施設整備事業」です。

西白井地区において、自治会などの地域住民同士の交流やふれあいを深めるための活動拠点となるコミュニティ施設を整備するため、施設の基本設計や実施設計委託などを行ってまいります。

4点目は、「白井市のPR事業」で、先ほど申しあげました「白井市シティプロモーション基本方針」に基づき、若い世代をターゲットに市の魅力を効果的に発信するシティプロモーション活動を展開するため、市のプロモーション専用ウェブサイトやPR動画の作成を行ってまいります。

5点目は、「バス交通推進事業」で、今後、人口減少や少子化・高齢化が進展する中、循環バスだけでなく、鉄道・路線バス・タクシーなど公共交通機関全体で市民の移動ニーズに対応し、公共交通の持続性・利便性を確保するため、市全体にとって望ましい公共交通網を定める「地域公共交通網形成計画」の策定を行ってまいります。

最後に、「広報に要する経費」で、市民の皆さんに市の情報をお知らせする「広報しろい」について、これまで新聞折り込みと申込制のポスティングで配布していましたが、平成29年度は、市内の一般世帯及び事業所に、シルバー人材センターを活用して全戸配布等を行ってまいります。

以上、施政方針並びに当初予算編成について説明させていただきましたが、「特に力を入れて取り組む事業」、「戦略事業」、「実施計画事業」等、成すべき事業を積極的に推進し、「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。